

2019年11月 旅行取扱高状況報告

< 旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	28,893,734	29,691,580	97.3%
国内旅行	4,440,246	4,332,137	102.5%
訪日旅行	2,024,889	2,475,564	81.8%
合 計	35,358,870	36,499,281	96.9%

上記、月次取扱高は、エイチ・アイ・エス及び同グループ5社（オリオンツアー、クオリタ、クルーズプラネット、ジャパンホリデートラベル、エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した取扱高の合計となります。また当月より、日本における旅行事業のみに集計基準を変更しております。それに伴い、前期数値も同基準へ変更しております。

1. 海外旅行

海外旅行は、香港・韓国における需要の減少は継続しているものの、10月月末からダナン線が増便したベトナムが前年同月比128%と増加したことに加え、スペイン・ポルトガルが同139%、イギリスが同116%と引き続き欧州方面が好調に推移したほか、ハワイが同107%、グアムが同108%とビーチ方面も順調な伸びとなりました。商品別では、欧州方面が好調だったことから添乗員付きツアーが同118%と伸ばいたしました。

以上の結果、海外旅行の総取扱高は、前年同月比97.3%の288億9,373万円となりました。

< 海外旅行 方面別・商品別・チャネル別データ >

① 方面別

方 面	前年同月比
アジア	87.7%
オセアニア・南太平洋	96.3%
ハワイ・ミクロネシア	105.1%
欧州・中近東・アフリカ	103.8%
北米・中南米	108.6%

② 商品別

商 品	前年同月比
手配旅行	98.5%
企画旅行	97.0%

③ チャネル別

チャネル	前年同月比
店舗	94.6%
オンライン	110.2%

2. 国内旅行

国内旅行では、北海道が秋の味覚を組み込んだ商品の造成や、キャンペーン展開など各種施策の効果もあり前年同月比120%と好調だったことに加え、沖縄においては、首里城再建に向けた観光支援のため販売を強化したことにより同111%と順調に推移いたしました。

以上の結果、国内旅行の総取扱高は、前年同月比102.5%の44億4,024万円となりました。

3. 訪日旅行

訪日旅行では、欧米からの受客は引き続き好調に推移したものの、東アジアからの受客においては、単価の減少がみられたことにより、訪日旅行の総取扱高は、前年同月比81.8%の20億2,488万円となりました。

以上の結果、2019年11月の旅行取扱高の総計は、前年同月比96.9%の353億5,887万円となりました。

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス

I R室：03-6388-0707

広報室：03-5908-2346